

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」のサンプル

サンプルは、以下のプロンプト1「個人旅行」と「パック旅行」について書かれたものです。

こじんりょこう りょこう
「個人旅行」と「パック旅行」

いか さくぶん おうぼ
あなたは以下の作文コンテストのポスターを見ました。そして、この作文コンテストに応募することにしました。

こじんりょこう りょこう
「個人旅行」と「パック旅行」

し あ くに しゅうかん こじん じゅんび りょこうがいしゃ
知り合いのいない国を1週間旅行するとしたら、個人で準備する「個人旅行」と、旅行会社が準備してくれる「パック旅行」と、どちらで行きますか。

めん あ ひかく いけん
それぞれのプラス面とマイナス面を挙げて比較し、旅行についてのあなたの意見を600字～800字で書いてください。

にゅうしょう かた おうふくこうくうけん ゆうこう
入賞された方には、日本への往復航空券（1カ月有効）をプレゼントいたします。

日本さくら旅行

プロンプト 1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容 1 のサンプル

該当サンプルなし

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容2のサンプル

この短い論文に個人旅行とパック旅行の長所と短所について書きたいと思います。

個人旅の一つの利点は安さです。旅行会社は、利益のためいつも高価な選択を提案してみます。

航空会社やホテルなどが自分で選べます。

日程が好みで選べり、見たいものが全部見られます。それ以外、他人の違う意見が気にしないから、喧嘩がありません。

ゆったりとしたスケジュールが緩めます。誰でも急がせません。

一人で旅行すれば一番いい長所は、自分自身についてもっと知るようになります。自分の限界とか問題解決能力もトライできます。

短所というと、個人旅は面倒なことになりやすいです。自分で悪い決定することがあります。例えば、インターネットを通して存在しないホテルに要約するか、インターネットにある写真に比較して、全く違うホテルを見つけます。その場合は、一人でいったら、困ります。

現地での移動も自分で行わなければなりません。タクシーやシャトルバスなど移動の手段はいろいろあるが、予約、購入などはすべて自分でやらなければなりません。何かあったときも、自分で責任を負わなければなりません。

経験が誰でもシェアできないから寂しくなるかもしれません。

パック旅行のときに、友達も新しい人々とも一緒に旅行できます。新しい友達が作れます。

共有な経験とモリーが持つようになります。それ以外、旅行のときに、いつもお互いが助けられます。

旅行会社を通じて、パック旅行にするとき、航空券など旅行の行うのが簡単になります。

旅行費用の総額が高くなるけど、責任を他の人に任せますから、便利です。

【解説】

個人旅行のプラス面とマイナス面の記述に文章全体の3分の2以上が使われ（2行目から下から5行目まで）、その後、残りの部分でパック旅行のプラス面のみ述べられている。このように個人旅行とパック旅行の比較はされているものの、「意見に相当するもの」はみられない。以上より、「2」となる。

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容3のサンプル

私は個人旅行とパック旅行とどちらで行くについてコンクールに応募したいと思います。

パック旅行で行ったら、知り合いのいない国に行くまで、何も知らなくてもいいです。準備することも、ガイドブックを買うことも、しなくてもいいと思います。パック旅行のガイドは色々な行く所について説明したり、あんないしたりします。パック旅行で行くと、道にまよいません。でも、マイナス面は、行きたいところにいつでも行けません。自由行動がなかったら、自分でどこでも行ってはいけないと思います。また、他のかんこう客の気持ちを付けなければなりません。

個人旅行で行ったら、自分の予定をたてられます。どこでも、いつでも、かんこうすることもできます。さらに、他のかんこう客の気持ちを付けなくてもいいです。夜遅くまで起きたいと思ったら、いいです。でも、早く休みたいと思ったら、それもいいです。しかし、マイナス面は、ガイドがいないで、宿泊地の予約をしなければなりません。または、知り合いのいない国に行くまで、研究しておいた方がいいと思います。その国人が私の母語で話さなければ、辞書を買っておいた方がいいのでしょうか。ガイドブックも買った方がいいと思います。個人旅行で行ったら、道にまようかもしれません。

挙げてひかくしたら、どちらの方がいいかわかりませんが、全体的に、私は道にまよいやすい人ですから、パック旅行で行くと思います。どこでも行けなくても、おもしろいパック旅行を決めると、まだ楽しいと思います。

【解説】

第2パラグラフでパック旅行のプラス面とマイナス面を、第3パラグラフで個人旅行のプラス面とマイナス面を述べていることから「比較」は十分に行われている。一方、「意見」については、最後に「どちらの方がいいかわかりませんが、全体的に、私は道にまよいやすい人ですから、パック旅行で行く」と記述され、それまでの議論が活用されておらず、メインアイデアの一貫性やサポートの妥当性があまり認められない。以上より、「3」となる。

*なお、このサンプルではパラグラフ間が1行空けられているが、特に空ける必要はない。

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容4のサンプル

私は高校生の時から寮に住んでいるので、あまり一人で時間を過ごさなかった。従って、知り合いのいない国を旅行するとしたら、ぜひ旅行会社が準備してくれる「パック旅行」にしようと思う。

「個人旅行」は様々な長所があるはずだ。自分が好きなところに行けるし、誰にもスケジュールを当たらなくてもいいし、誰にも待たせられないし、適当に旅行できる。しかし、日夜一人で観光しなければならなかったら、きっと寂しくなると思う。何が難しいことがあったら、誰も手伝うのができない。怪我をしたら、そういうことは一人で扱うのは複雑だろう。

「パック旅行」に行ったら、会社の予定に当たらなければならないし、興味が持っていないところもスケジュールに入られるかもしれない。

しかし、旅行の準備を自分で作るべきではないので、便利だ。様々な知らない人にあって、新しい友達を作れるようになる。また、人々によって世界の見方は違うので、皆は気に入ることが異なるのは面白いと思う。私は見つけないことを誰かが教えてくれたら、興味を持っているようになるかもしれない。更に大きく旅行会社が雇ったガイドが話す説明はインターネットとかガイドブックである情報より適当だと思う。時々観光地について面白い物語もできるようになる。夜には宿泊で他の観光客と一緒に楽しんでいる機会もあるし、関係がある人たちと一緒にいればもっと無事な感じがあるはずだ。また、大変な問題が現れたら、仲間が手伝える。しかも、たくさん人が一緒に宿泊を予約すると、割引もよくあるので、「パック旅行」にしたら、支出も縮小できるようになる。

従って、私は「個人旅行」より「パック旅行」のほうが気に入る。

【解説】

第1パラグラフで「ぜひ旅行会社が準備してくれる『パック旅行』にしようと思う。」と「意見」が明確に述べられている。第2パラグラフで「個人旅行」のプラス面とマイナス面、第3パラグラフで「パック旅行」のマイナス面を指摘してから、第4パラグラフで「パック旅行」のプラス面を十分述べており、「パック旅行」を支持する「意見」に対しての効果的なサポートとなっている。全体的に、メインアイデアに明確な一貫性・妥当性が認められ、効果的なサポートがあると言える。ただし、社会的な視点はみられず、また、自分自身の体験から脱していないことから普遍性、客観性も認められない。以上より、「4」となる。

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容5のサンプル

パック旅行と個人旅行は、年齢別にパック旅行の良さ、個人旅行の良さが異なると思う。

パック旅行は、旅行会社が準備を全般的にしてくれることに、プラス面とマイナス面が明確に異なる。パック旅行のプラス面では、安全性と気楽なことがある。パック旅行の安全性とは、旅行会社には様々な危険による対策や保険が存在し、いざとするとする時、旅行者を守ることができる。気楽なこととは、旅行する場所の情報を分からなくても、苦労しなくて旅行を進められることである。

一方、マイナス面では時間調節や自分の気持ちどおりにならないことである。パック旅行とは、旅行会社が全部用意してくれることで、いきなり起きた小さい気持ち変化で、様々な場所や行動に限定されることが、パック旅行の弱点であると思う。

代わりに、自分が全部準備する個人旅行も、プラス面とマイナス面が存在する。個人旅行のプラス面は、まず、探究心を育つことができることと急に起こった事件や気持ち変化に対する時間調節できることがある。いわゆる、若者に勧める旅行であり、他国や国内でも、自分が情報を調べ、対策を作りながら後になったら、大切な経験になると思う。

一方、個人旅行のマイナス面では、危険性も伴うことである。特に、外国旅行としたら、言葉、情報、文化、習慣などの基礎知識が要することになるのだが、危険に落ちるかもしれないことで、個人旅行を途中で辞めてしまうもある。

従って、パック旅行と個人旅行は様々なメリットやデメリットを持ち、どちらかが一番いい旅行だとは言いきれない。だが、パック旅行は、安全性、気楽なことを見たら、年上、高齢層が一番相応しい旅行だと思う。個人旅行は、まだ、世の中を知ろうとする若者、つまり 20 代、30 代に相応しい旅行だと思う。

【解説】

パック旅行と個人旅行のそれぞれのプラス面とマイナス面を、年齢別に異なるという観点から比較している。その上で、「安全性」「気楽なこと」からパック旅行は高齢層にふさわしく、個人旅行は「世の中を知ろうとする若者」に向いているという「意見」を、妥当なサポートとなる議論の後に述べている。年齢別に論じていることから、社会的視点は感じられる。しかし、オリジナリティと呼べるほどのユニークさは持ち得ていない。以上より、「5」となる。

プロンプト1:「個人旅行」と「パック旅行」

目的・内容6のサンプル

21世紀に生きている私達には、前の世代の想像も及ばない可能性がある。その一つはお金さえあれば、自由に世界のあちらこちらを訪ねる機会だ。観光客の飛躍的な増加に伴い、現在の観光事業も素晴らしい発展のレベルを達成している。そして観光客の需要の似合うのに、旅行の形も多様化してきた。その中でも「パック旅行」と「個人旅行」という最も人気のある形態が2つある。もちろん、この2つの主な形態にそれぞれのそれなりのメリットとデメリットがある。

私はまず、それぞれの形態のメリットに触れたいと思う。パック旅行というのは、ビザ発給から旅行日程の作成までに何もかも旅行会社に任せることができる非常に便利な旅行の携帯だ。パック旅行を選ぶ人は旅行費だけ払えば、1、2週間なにも気にせず楽しく観光しながら寛ぐことができる。この旅行の形態は普段なら多忙な人にとってもっとも相応しいと思う。また、バック旅行は原則として主な観光地と代表的なところの観光を含んでいるため、旅行の準備が更に簡単になる。それに対して、個人旅行はビザ発給作業、航空券の購入、ホテルの予約など自分でやらなければならない形態だ。この形態はマイペースで興味のある所だけ時間の制限なくて見たい人、また集団観光が苦手な人は個人旅行を選んだ方がいいと思う。

デメリットについて言えば、まず、パック旅行のもっとも重大な欠点は自由があまりないということだ。観光グループと共に様々なところまで辿り、表面的な観光しか出来ない。すなわち、もっとも有名で観光客で溢れているところしか見えない。この様な雰囲気である場所の雰囲気が本格的に味わえる人がいるだろうか。だが、個人旅行を選ぶ人はそれと逆に重要な観光地を飛ばしてしまう可能性がある。また、このような旅行の準備が大変疲れるし、他の国の交通機関の使い方など困るところもありそうだ。このように、上述した利点と欠点からみれば、自由に移動できない場面が苦手私にとって個人旅行の方が相応しいと思う。苦勞して細かい計画を立てる必要があっても、それができたら満足感を与える充実した観光が出来ると思う。

【解説】

第1パラグラフでは観光業の発展について述べており、社会的な視点がみられる。その後、第2パラグラフではプラス面に、第3パラグラフではマイナス面に着目して、パック旅行と個人旅行を比較している。その上で、多少の面倒はあっても「自由」というプラス面を重視して自分は個人旅行を選ぶという「意見」を最後に導き出している。観光業の発展とそれに伴う観光客の嗜好の多様化という社会的な視点から論じつつ、最後には自分の「意見」として収束させる論の流れや内容にオリジナリティが感じられる。以上より、「6」となる。